

事前伺い

[平成20年度設置]

計画の区分：学部の課程設置

注1

福井大学 教育地域科学部 地域科学課程

注2

【事前伺い】設置に係る設置計画履行状況報告書

国立大学法人 福井大学
平成21年5月1日現在

作成担当者

担当部局（課）名 総務部経営戦略課

職名・氏名 カチョウホ、サ 課長補佐 ナカガワ 中川 カズハル 和治

電話番号 0776-27-8055

（夜間） 0776-27-8055

F A X 0776-27-8518

e-mail sskikaku-k@ad.u-fukui.ac.jp

(注) 1 「計画の区分」は事前伺い手続き時の設置計画の概要の「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

- ・学部の設置の場合：「〇〇大学 〇〇学部」
- ・学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 〇〇学部 〇〇学科」
- ・短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 〇〇学科」
- ・大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」
- ・通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 〇〇学部 〇〇学科（通信教育課程）」

目 次

1	調査対象大学等の概要等	1 頁
2	授業科目の概要	4 頁
3	既設大学等の状況	17頁
4	教員組織の状況	19頁
5	その他全般的事項	20頁

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

国立大学法人 福井大学

(2) 大学名

福井大学

(3) 大学の位置

〒910-8507
福井県福井市文京3丁目9番1号

(注) 『(3) 大学の位置』は、対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を（ ）書きで記入してください。

(4) 調査対象学部等の名称, 定員, 入学者の状況等

- (注) 1 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等, 定員を定めている組織ごとに記入してください。
 2 様式は, 平成19年度開設の場合(平成22年度までの4年間)ですが, 開設年度に合わせて作成してください。(修業年限が3年以下の場合には欄を削除し, 5年以上の場合には, 欄を設けてください。)
 3 定員を変更した場合は, 備考欄に変更前的人数, 変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。

(4) -① 調査対象学部等の名称, 定員

調査対象学部等の名称(学位)	設置時の計画				備考
	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	
教育地域科学部 地域科学課程 (学士(地域科学))	4年	60人	年次 人	240人	

(4) -② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	対象年度 平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平均入学定員 超過率	備考
A 入学定員	()人	(-)人 60	(-)人 60	()人	1.03倍	
志願者数	()	(-) 289	(-) 181	()		
受験者数	()	(-) 216	(-) 129	()		
合格者数	()	(-) 71	(-) 66	()		
B 入学者数	()	(-) 61	(-) 63	()		
入学定員超過率 B/A	()	(-) 1.01	(-) 1.05	()		

- (注) 1 ()内には, 編入学の状況について外数で記入してください。なお, 編入学を複数年次で行っている場合には, (())書きとするなどし, その旨を備考欄に付記してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 2 「平均入学定員超過率」欄には, 開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。入学定員超過率については, 小数点以下第3位を切り捨て, 小数点以下第2位まで記入し, 平均入学定員超過率も同様の方法としてください。

(4) -③ 調査対象学部等の在学者の状況

学年	対象年度 平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	備考
1年次	[]	[-] 59	[-] 63	[]	平成21年度2年次の在学者には, 転学部した者1人を含む。
2年次	[]	[]	[-] 60	[]	
3年次	[]	[]	[]	[]	
4年次	[]	[]	[]	[]	
計	[]	[-] 59	[-] 123	[]	

- (注) 1 []内には, 留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。

(4) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	退学者数 (a)	入学者数 (b)	入学者に対する 退学者数の割合 (a/b)
平成19年度	計 []	計 []	[] %
	うち平成19年度入学者 人	うち平成19年度 人	%
	(主な退学理由)		
平成20年度	計 [2]	計 [61]	[3.3] %
	うち平成19年度入学者 人	うち平成19年度 人	
	うち平成20年度入学者 2人	うち平成20年度 61人	
	(主な退学理由) ・就職 1人 ・専門学校への入学 1人		
平成21年度	計 [2]	計 [124]	[1.6] %
	うち平成19年度入学者 人	うち平成19年度 人	
	うち平成20年度入学者 2人	うち平成20年度 61人	
	うち平成21年度入学者 0人	うち平成21年度 63人	
	(主な退学理由)		
平成22年度	計 []	計 []	[] %
	うち平成19年度入学者 人	平成19年度 人	
	うち平成20年度入学者 人	平成20年度 人	
	うち平成21年度入学者 人	平成21年度 人	
	うち平成22年度入学者 人	平成22年度 人	
(主な退学理由)			

(注)1 []内には、留学生の状況について内数で記入してください。

2 「入学者数に対する退学者数等の割合」欄は、各対象年度における退学者等の数を開設年度から当該年度までの入学者(累積)で除した割合(%)を記入してください。その際、小数点以下第2位を四捨五入し、小数点以下第1位までを記入してください。

3 「主な理由」欄は、下の項目を参考に、その人数も含めて記入してください。

・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
 ・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

2 授業科目の概要

<教育地域科学部地域科学課程>

(1) 授業科目表

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等配置					備考		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
[共通教育科目]													
【大学教育入門セミナー】													
	大学教育入門セミナー	1	2			2	2						
【基礎教育科目】													
外国語科目	英語1	1・2・3		2		2	2					退職・配置換のため、教員減(21) カリキュラム充実のため、教員を追加(21)	
	英語2	1・2・3		2		3 2	1						
	英語3	1・2・3		2		3 2	1 2						
	英語4	1・2・3		2		3 4	2						
	ドイツ語1	1・2・3		2		1	1						採用により、教員を追加(21)
	ドイツ語2	1・2・3		2		1	1						〃
	ドイツ語3	1・2・3		2			1						〃
	ドイツ語4	1・2・3		2			1						〃
	フランス語1	1・2・3		2		1	1						
	フランス語2	1・2・3		2		1	1						
	フランス語3	1・2・3		2			1						
	フランス語4	1・2・3		2			1						
	中国語1	1・2・3		2			1		2 +				平成20年度、採用により、教員を追加(21)
	中国語2	1・2・3		2			1		2 +				〃
	中国語3	1・2・3		2									
	中国語4	1・2・3		2									
	日本語A	1・2・3		2									
	日本語B	1・2・3		2									
日本語C	1・2・3		2										
日本語D	1・2・3		2										
日本語E	1・2・3		2										
日本語F	1・2・3		2										
日本語G	1・2・3		2										
日本語H	1・2・3		2										
科体保 目育健	保健体育	1		2									
	体育	1		2		2							
科基処情 目礎理報	情報処理基礎	1	2			1	1						
	総合情報処理	1		2									
【教養教育・副専攻科目】													
A群「共通教養・副専攻科目」	第1分野「社会」	地域と歴史系	日本史（日本古代国家の成立）	1・2・3		2							
			日本史（中世社会の転換）	1・2・3		2							
			東洋史A（「東アジア世界」と日本）	1・2・3		2							
			東洋史B（近代日本とアジア認識）	1・2・3		2							
			西洋史（近代ナショナリズムの誕生）	1・2・3		2			1				
			西洋史（現代ナショナリズムの展開）	1・2・3		2			1				
			地図に見る歴史と景観	1・2・3		2							
			発展途上国の人間地生態	1・2・3		2		1					平成20年度、カリキュラム充実のため、教員を追加(21)
	現代社会の	憲法A（総論・統治機構）	1・2・3		2								
		憲法B（人権）	1・2・3		2								
憲法概論		1・2・3		2									

見方系	経済学A (現代社会と貨幣)	1・2・3	2							
	経済学B (現代の生産システムと労働)	1・2・3	2							
	経済学C (公共サービスと経済学)	1・2・3	2			1				
	社会学A (メディア社会の諸相)	1・2・3	2		1					
	社会学B (変容する家族と社会)	1・2・3	2		1					
	政治学A (現代政治学入門)	1・2・3	2		1					
	政治学B (戦後日本の政治)	1・2・3	2		1					
	ジェンダー論	1・2・3	2				1			
	系生活と生活空間の科学	都市と建築の環境	1・2・3	2						
		まちづくり論	1・2・3	2						
		災害の科学	1・2・3	2						
		衣生活の現状	1・2・3	2						
		現代家族と福祉・ジェンダー	1・2・3	2						
		介護の現状と介護保険制度	1・2・3	2			1			
災害ボランティア論		1・2・3	2							
第2分野「人間」	思想と人間系	西洋思想の形成 (中世～17世紀)	1・2・3	2						
		西洋思想の形成 (古代ギリシャ)	1・2・3	2						
		複雑系の哲学Ⅰ (科学を哲学する)	1・2・3	2						
		複雑系の哲学Ⅱ (科学を哲学する)	1・2・3	2						
		オートポイエーシス論	1・2・3	2						
		いのちの哲学	1・2・3	2						
	人間の科学系	教えることと学ぶこと	1・2・3	2						
		心理学研究入門	1・2・3	2		1				
		認知発達障害	1・2・3	2						
		脳と心	1・2・3	2						
		生涯発達心理学入門	1・2・3	2						
		「社会がわかる」とは?	1・2・3	2						
		批判的思考を伸ばす	1・2・3	2						
		人間の科学特別演習A (教育学)	1・2・3	2						
		人間の科学特別演習B (心理学)	1・2・3	2						
		人間の科学特別演習C (障害児)	1・2・3	2						
		こころの成長Ⅰ	1・2・3	2						
	こころの成長Ⅱ	1・2・3	2							
	学力とは何か	1・2・3	2							
	健康科学・医科学概論	1・2・3	2							
	スポーツと健康の科学系	スキーの科学	1・2・3	2						
		「わかる」と「できる」の科学	1・2・3	2						
		トレーニングの科学	1・2・3	2						
		アト・スポーツとバリアフリー	1・2・3	2						
		歩と走の科学	1・2・3	2						
		健康的な生活の基礎	1・2・3	2			1			
		健康管理と食生活	1・2・3	2						
生まれること、産むこと	1・2・3	2								
英語コミュニケーション系	スピーキングⅠ	1・2・3	2				1			
	スピーキングⅡ	1・2・3	2		1					
	リスニングⅠ	1・2・3	2							
	リスニングⅡ	1・2・3	2							
	ライティングⅠ	1・2・3	2							
	ライティングⅡ	1・2・3	2				1			
	リーディング	1・2・3	2							
第3分野「文化」	日・中言語文化系	日本語の歴史	1・2・3	2						
		言語表現	1・2・3	2						
		日本文学の楽しみ	1・2・3	2						
		古典文学の中の郷土	1・2・3	2						
		中国の古典文学	1・2・3	2						
		中国のことば	1・2・3	2				1		
		多文化コミュニケーションA(異文化コミュニケーションA)	1・2・3	2						
		多文化コミュニケーションB(日本語コミュニケーションB)	1・2・3	2						
		多文化コミュニケーションC(異文化コミュニケーションC)	1・2・3	2						

	教養中国語 1	1・2・3	2			±	1			
	教養中国語 2	1・2・3	2			±	1			
	教養中国語 3	1・2・3	2				1		平成20年度、採用により、教員を追加 (21)	
	教養中国語 4	1・2・3	2			±	1			
	言語生活論	1・2・3	2							
	中国の文化	1・2・3	2						カリキュラム充実のため、科目を追加(21)	
欧米の言語と文化系	西洋古典文化への誘い	1・2・3	2							
	ヨーロッパの言語事情	1・2・3	2	1		±				
	フランス文学入門	1・2・3	2	1						
	アメリカの文化	1・2・3	2			±			退職により、教員減(21)	
	ヨーロッパの映画	1・2・3	2	1						
	ドイツの文化A	1・2・3	2							
	ドイツの文化B(ドイツ文化とシボル)	1・2・3	2	1						
	フランスの文化A(文学と絵画)	1・2・3	2							
	フランスの文化B(ジャポニズムとその時代)	1・2・3	2			1				
	教養ドイツ語 1	1・2・3	2							
	教養ドイツ語 2	1・2・3	2							
	教養ドイツ語 3	1・2・3	2							
	教養ドイツ語 4	1・2・3	2							
	教養フランス語 1	1・2・3	2			1				
	教養フランス語 2	1・2・3	2			1				
	教養フランス語 3	1・2・3	2							
教養フランス語 4	1・2・3	2								
美術系	造形美術の世界-絵画、彫刻	1・2・3	2			±			平成20年度、教員の配置換 (21)	
	生活と美術-みる、えがく、つくる	1・2・3	2							
	書とその周辺の楽しみ	1・2・3	2							
	美術 (建築美学)	1・2・3	2							
	博物館入門	1・2・3	2	1						
	造形美術の世界-工芸	1・2・3	2							
音楽系	近現代の音楽芸術	1・2・3	2			1				
	音楽の舞台裏、探訪	1・2・3	2							
	音楽のしくみ	1・2・3	2			±			〃	
	ピアノの魅力やさぐるA(ポップ・古典)	1・2・3	2							
	ピアノの魅力やさぐるB(ロマン派・近代)	1・2・3	2							
	歌うこと・表現すること	1・2・3	2							
	ポピュラー音楽の魅力やさぐる	1・2・3	2							
日本語・日本文化系	日本の文化	1・2・3	2							
	多文化コミュニケーションA(異文化コミュニケーションA)	1・2・3	2							
	多文化コミュニケーションB(日本語コミュニケーションB)	1・2・3	2							
	多文化コミュニケーションC(異文化コミュニケーションC)	1・2・3	2							
	日本事情 A (日本語と文化)	1・2・3	2							
	日本事情 B (社会と文化)	1・2・3	2							
	応用日本語 I	1・2・3	2							
	応用日本語 II	1・2・3	2							
第4分野「技術」	システムと情報系	コンピュータ入門	1・2・3	2						
		計算機システムの基礎	1・2・3	2						
		マルチメディア情報通信	1・2・3	2						
		数値計算の考え方	1・2・3	2						
		エネルギーと環境	1・2・3	2						
		システム工学序説	1・2・3	2						
		宮沢賢治と非線形科学	1・2・3	2						
		ロボットの知能と学習	1・2・3	2						
		デジタル社会の算術-暗号への算術	1・2・3	2						
		脳・ことば・こころ	1・2・3	2						
	生活と技術系	熱と流れ	1・2・3	2						
		役に立つ摩擦学	1・2・3	2						
		くらしの化学	1・2・3	2						
		産業社会の中の計測技術	1・2・3	2						
		科学技術と社会	1・2・3	2						

			音と振動	1・2・3	2																
			金属のはなし	1・2・3	2																
		物質と技術系	新素材の世界	1・2・3	2																
			地球環境工学	1・2・3	2																
			人間社会と化学	1・2・3	2																
			バイオの世界	1・2・3	2																
			生体機能と化学物質	1・2・3	2																
			電子の世界	1・2・3	2																
			物性の科学	1・2・3	2																
			半導体の科学	1・2・3	2																
			分子から細胞までの化学	1・2・3	2																
	第5分野「自然」	自然のこゝろ系	社会の動きを数学する	1・2・3	2																
				組合せ数学入門	1・2・3	2															
				ランダム現象の記述	1・2・3	2								1							
				誤差の数理	1・2・3	2															
				集合と論理	1・2・3	2															
				数学的活動	1・2・3	2															
			物質とエネルギー系	熱の科学	1・2・3	2															
				水の科学	1・2・3	2															
				光学材料の科学	1・2・3	2															
				エネルギー科学	1・2・3	2															
				エネルギー問題入門	1・2・3	2															
				物質の構造	1・2・3	2															
			地球と生命系	ミクロの世界-量子力学の萌芽-	1・2・3	2															
				電磁波と物質	1・2・3	2															
				環境科学	1・2・3	2															
				地球の環境	1・2・3	2															
				地球の進化	1・2・3	2								1							
				地球の物理	1・2・3	2															
		ヒトの生物学	1・2・3	2																	
		生命共生系としての植物	1・2・3	2																	
		自然史と生物	1・2・3	2																	
		日本海地域の自然と環境	1・2・3	2																	
			環境マネジメントシステム	1・2・3	2																
B群「専門教育・副専攻科目」	学校教育分野	学校教育系	教科国語基礎（書写を含む）	1・2・3	2																
			教科社会基礎	1・2・3	2																
			教科算数基礎	1・2・3	2																
			教科保健基礎	1・2・3	2																
			教科生活基礎	1・2・3	2																
			国際理解基礎	1・2・3	2																
			生活技術基礎	1・2・3	2																
	地域科学分野	地域科学系	生涯学習概論Ⅰ	1・2・3	2																
			生涯発達心理学	1・2・3	2																
			ライフスタイルと健康	1・2・3	2																
			音楽史概論	1・2・3	2																
			英米文化論	1・2・3	2																
			ヨーロッパ文化理解	1・2・3	2																
			生物環境論	1・2・3	2																
			社会学概論	1・2・3	2																
			地域経済論	1・2・3	2																
			地方自治法	1・2・3	2																
			行政法Ⅰ（総論）	1・2・3	2																
国際文化交流論	1・2・3	2																			
言語コミュニケーション論	1・2・3	2																			
地球環境概論	1・2・3	2																			
福井地域の歴史	1・2・3	2																			
地理情報分析	1・2・3	2																			
物質工学	応用化学系	熱力学Ⅰ	1・2・3	2																	
		熱力学Ⅱ	1・2・3	2																	
		分析化学	1・2・3	2																	

平成20年度、教員の配置換（21）

退職により、教員減(21)

”
平成20年度、カリキュラム充実のため、教員を追加（21）
”

		量子力学Ⅱ	1・2・3	2																		
		量子力学Ⅲ	1・2・3	2																		
		群論入門	1・2・3	2																		
		物理数学	1・2・3	2																		
		解析力学	1・2・3	2																		
		物性物理学Ⅰ	1・2・3	2																		
		流体力学	1・2・3	2																		
		物理計測	1・2・3	2																		
		統計力学Ⅱ	1・2・3	2																		
		物理光学	1・2・3	2																		
		物性物理学Ⅱ	1・2・3	2																		
		電気電子回路Ⅱ	1・2・3	2																		
		環境放射能	1・2・3	2																		
		分子シミュレーション	1・2・3	2																		
		量子化学	1・2・3	2																		
		応用物理学概論	1・2・3	2																		
		現代物理学概論	1・2・3	2																		
システム工学分野	機械工学系	材料力学	1・2・3	2																		
		構造設計工学	1・2・3	2																		
		機械要素設計Ⅰ	1・2・3	2																		
		機械要素設計Ⅱ	1・2・3	2																		
		機械加工学	1・2・3	2																		
		加工解析	1・2・3	2																		
		基礎熱力学	1・2・3	2																		
		応用熱力学	1・2・3	2																		
		流れ学	1・2・3	2																		
		流体システム	1・2・3	2																		
		エネルギー変換工学	1・2・3	2																		
		基礎振動工学	1・2・3	2																		
		機械力学	1・2・3	2																		
		基礎計測制御	1・2・3	2																		
	電気・電子工学系	回路理論Ⅰ	1・2・3	2																		
		アナログ電子回路	1・2・3	2																		
		デジタル電子回路	1・2・3	2																		
		電子デバイス概論	1・2・3	2																		
		半導体工学	1・2・3	2																		
		計測工学	1・2・3	2																		
		エネルギー工学	1・2・3	2																		
		制御理論基礎	1・2・3	2																		
		パワーエレクトロニクス	1・2・3	2																		
		電気エネルギー発生	1・2・3	2																		
	情報・メディア工学系	電気機器学	1・2・3	2																		
		情報ネットワーク基礎	1・2・3	2																		
		システム工学	1・2・3	2																		
		コンピュータ通信基礎	1・2・3	2																		
		情報数学Ⅱ	1・2・3	2																		
		デジタル論理回路	1・2・3	2																		
		画像処理	1・2・3	2																		
		音声情報処理	1・2・3	2																		
	建築建設工学系	情報工学概論	1・2・3	2																		
		離散数学Ⅰ	1・2・3	2																		
		回路理論	1・2・3	2																		
		建築構造基礎第一及び演習	1・2・3	1																		
		建築構造基礎第二及び演習	1・2・3	1																		
		応用地質学	1・2・3	2																		
		西洋建築文化史	1・2・3	2																		
	地球・都市環境工学	1・2・3	2																			
	居住地計画	1・2・3	2																			
	都市計画	1・2・3	2																			
建築施工	1・2・3	2																				

	経営情報処理論Ⅰ	2 3		2	1					平成20年度、所属する系を決定する際に受講することとし、配当年次を変更(21)
	経営情報処理論Ⅱ	3		2	1					
	経営管理論	2		2						
	マーケティング論	2		2						
	公共政策演習Ⅰ	2	2		2	1		+		退職により、教員減(21)
	公共政策演習Ⅱ	3	2		2	1		+		"
	公共政策演習Ⅲ	3	2		2	1		+		"
	公共政策演習Ⅳ	4	2		2	1		+		"
環境マネジメント系科目群	地球環境概論	2		2	1					
	地域環境マネジメント	2		2	1					
	地域環境概論Ⅰ	2 3			2	1				平成20年度、所属する系を決定する際に受講することとし、配当年次を変更(21)
	地域環境概論Ⅱ	2 3			2	1				"
	自然環境学実験	2 3			2	1				"
	生物環境論	2	2				1			
	地域と生態系	2	2				1			
	生物野外実習法	3		2			1			
	多様性生物学	3		2			1			
	保全生物学実習	3	2	2			1			
	環境生物学実習	3	2				1			
	環境実践業務研修Ⅰ	2		2	1	1				
	環境実践業務研修Ⅱ	3		2	1	1				
	地域環境野外実習	2		2	1	1				
環境マネジメント実習Ⅰ	3		2	1	1					
環境マネジメント実習Ⅱ	3		2	1	1					
人間文化領域専門教育科目										
生涯学習系科目群	生涯学習概論Ⅰ	2	2	2	1					平成20年度、カリキュラム充実のため、教員を追加(21)
	生涯学習概論Ⅱ	2	2			1				カリキュラム充実のため、科目を追加(21)
	社会教育計画Ⅰ	2	2	2	1					平成20年度、カリキュラム充実のため、教員を追加(21)
	社会教育計画Ⅱ	3	2			1				カリキュラム充実のため、科目を追加(21)
	社会教育演習	3		2		1				"
	社会教育活動論	2		2		1				"
	市民の学習と社会	2		2	1					"
	ライフスタイルと健康	1		2	2					
	生涯スポーツ論	3		2	1					
	生涯学習とメディア	2		2						
	生涯発達心理学	2		2						
	学びの認知科学	2		2						
	博物館概論	2	2	2	1					
	博物館資料論	2		2	1					
	博物館情報・経営論	3		2	1					
	博物館実習	3		3	1					
	芸術創作演習(音楽)	3		1						
	音楽史概論	2		2		1				
	音楽理解の視点	2		2		1				
	音楽文化論演習	3		2		1				
	世界音楽概論	3		2		1				
	芸術創作演習(美術)	3		1						
	美術史概論	2		2						
美術理解の視点	2		2							
人間健康科学研究法	3 2	4 2		2						平成20年度、所属する系を決定後に受講することとし、配当年次を変更(21)
生涯スポーツとフィットネス	4		2	1						
地域スポーツ論	3 2		2							"
スポーツ文化論	2		2							

	中国語文章表現Ⅲ	3		2			±	1		担当者の変更(21)
	応用中国語Ⅰ	3		2			±	1		担当者の変更(21)
	応用中国語Ⅱ	3		2			±	1		"
	中国語文法研究	3		2			1			
	日本語音声学	2		2						
	日本語文法論	2		2						
関連専門科目	西洋近代史	1		2						
	西洋現代史	1		2						
	自然地理学概説	2		2						
	第四紀学	3		2						
	基礎生物学	2		2						
	基礎地学	1		2						
	環境化学	2		2						
	現代生物学特講	1		2						
	都市計画	2		2						
	庭園学	4		2						
	日本建築史	1		2						
	美術史特講	3		2						
	絵画制作基礎Ⅰ	3		1						
	キャンプ	1		1						
	認知心理学特講	2		2						
	教育心理学	1		2						
	精神医学	3		2						
心理学コンピューター演習	2 3		2						平成20年度、所属する系を決定する際に受講することとし、配当年次を変更(21)	
心理統計・調査法	3 2		2						"	
【卒業研究】										
卒業研究	卒業研究	4	8							

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	
科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	
10	436	136	582	10	430	135	575	
				[0]	[△6]	[△1]	[△7]	

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1	臨床心理学	2	1	専門	自由	受講生がいなかったため開講しなかった。代替措置なし。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1	生活環境と人間行動	2	1・2・3	一般	選択	後任不補充のため担当できる教員が不在となった。代替措置なし。
2	自己探求の人間学	2	1・2・3	一般	選択	異動のため担当できる教員が不在となった。代替措置なし。
3	科学技術史	2	1・2・3	一般	選択	後任不補充のため担当できる教員が不在となった。代替措置なし。
4	ヒトの誕生から死まで	2	1・2・3	一般	選択	後任不補充のため担当できる教員が不在となった。代替措置なし。
5	市民社会と学習	2	1・2・3	一般	選択	教職大学院への異動のため, 担当できる教員が不在となった。代替措置なし。
6	テレビ理解の心理学	2	1・2・3	一般	選択	後任不補充のため担当できる教員が不在となった。代替措置なし。
7	人間の認知と発達	2	1・2・3	一般	選択	後任不補充のため担当できる教員が不在となった。代替措置なし。
8	スウェーデンの障害児教育	2	1・2・3	一般	選択	教職大学院への異動のため, 担当できる教員が不在となった。代替措置なし。
9	認知心理学入門	2	1・2・3	一般	選択	後任不補充のため担当できる教員が不在となった。代替措置なし。
10	精神保健と臨床教育	2	1・2・3	一般	選択	後任不補充のため担当できる教員が不在となった。代替措置なし。
11	スポーツの歴史と体験	2	1・2・3	一般	選択	後任不補充のため担当できる教員が不在となった。代替措置なし。
12	日本美術の歴史(美術史A)	2	1・2・3	一般	選択	後任不補充のため担当できる教員が不在となった。代替措置なし。
13	ヨーロッパと今日(美術史B)	2	1・2・3	一般	選択	後任不補充のため担当できる教員が不在となった。代替措置なし。
14	生活の中の機械	2	1・2・3	一般	選択	後任不補充のため担当できる教員が不在となった。代替措置なし。
15	光と物質	2	1・2・3	一般	選択	後任不補充のため担当できる教員が不在となった。代替措置なし。
16	環境と植物	2	1・2・3	一般	選択	後任不補充のため担当できる教員が不在となった。代替措置なし。
17	相対性理論	2	1・2・3	一般	選択	専門科目のカリキュラム変更による。代替措置なし。
18	物理工学実験法	2	1・2・3	一般	選択	専門科目のカリキュラム変更による。代替措置なし。
19	メカトロニクス	2	1・2・3	一般	選択	専門科目のカリキュラム変更による。代替措置なし。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

福井大学の「教養教育・副専攻科目」の目的は、自分の専門にとらわれず、広い分野の知識や方法、考え方を身につけることにある。そのため開講科目も豊富に用意されており、履修方法も各分野から選択するようになっている。今回、教員の退職等により廃止科目が発生しているが、選択の幅が極端に減っているわけではなく、その影響はないものと考えられる。また、地域科学課程について、関連専門科目が1科目未開講とされているが、人間文化専門領域専門科目が充実しているため特に支障はない。
学生へはオリエンテーション等で周知している。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

未開講科目と廃止科目の計	=	3.26%
設置時の計画の授業科目数の計		

- (注) 1 「(1) 授業科目表」は、事前伺い手続き書類の「教育課程等の概要」に準じて作成してください。
- 2 「(2) 授業科目数」は、未開講である場合や、配当年次に関わらず、教育課程上の授業科目数を記入する(資格に関する課程など、別課程としている授業科目については算入する必要はありません。)とともに、[]内に設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：△1)
- 3 「(3) 未開講科目」は、配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- 4 「(4) 廃止科目」は、設置時の計画にあった授業科目を何らかの理由で廃止(教育課程から削除)した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- 5 「(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」」欄には、授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。
- 6 「(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合」は、小数点以下第3位を切り捨て、小数点第2位までを記入してください。

3 既設大学等の状況

大学の名称	福井大学							備考	
既設学部等の名称	修業年限	入定学員	編入学員	収容定員	学位又は称号	定員超過率	開年度	所在地	
	年	人	年次人	人		倍			
教育地域科学部									
学校教育課程	4	100	—	400	学士(教育学)	1.10	平成11年度	福井県福井市文京3丁目9番1号	平成20年度から学生募集停止
地域科学課程	4	60	—	120	学士(地域科学)	1.03	平成20年度		
地域文化課程	4	—	—	60	学士(地域文化)	—	平成11年度		
地域社会課程	4	—	—	60	学士(行政社会) 学士(地域環境)	—	—		
医学部									
医学科	6	105	2年次 5	605	学士(医学)	1.00	昭和55年度	福井県吉田郡永平寺町松岡下合月23番3号	
看護学科	4	60	3年次 10	260	学士(看護学)	1.00	平成9年度		
機械工学科	4	75	3年次 5	310	学士(工学)	1.09	平成11年度	福井県福井市文京3丁目9番1号	
電気・電子工学科	4	64	5	266	—	1.29	—		
情報・IT工学科	4	65	10	280	—	1.04	—		
建築建設工学科	4	65	10	280	—	1.03	—		
材料開発工学科	4	75	—	300	—	1.09	—		
生物応用化学科	4	65	—	260	—	1.08	—		
物理工学科	4	51	—	204	—	1.07	—		
知能システム工学科	4	65	—	260	—	1.08	—		
大学院教育学研究科(修士課程)								福井県福井市文京3丁目9番1号	平成20年度から学生募集停止
学校教育専攻	2	12	—	12	修士(教育学)	0.79	平成20年度		
教科教育専攻	2	25	—	25	—	1.06	—		
学校教育専攻(旧)	2	—	—	—	—	—	平成11年度		
教科教育専攻(旧)	2	—	—	—	—	—	—		
障害児教育専攻	2	—	—	—	—	—	—		
(教職大学院の課程)									
教職開発専攻	2	30	—	60	教職修士(専門職)	1.09	平成20年度		
大学院医学系研究科(修士課程)								福井県吉田郡永平寺町松岡下合月23番3号	
看護学専攻	2	12	—	24	修士(看護学)	0.62	平成13年度		
(博士課程)									

医科学専攻	4	5	—	10	博士 (医学)	0.30	平成20年 度		
先端応用医学専攻	4	25	—	50	〃	0.44	〃		
形態系専攻	4	—	—	14	〃	—	昭和61年 度		平成20年度から学 生募集停止
生理系専攻	4	—	—	18	〃	—	〃		〃
生化系専攻	4	—	—	18	〃	—	〃		〃
生態系専攻	4	—	—	10	〃	—	〃		〃
大学院工学研究科 (博士前期課程)									福井県福井市文京 3丁目9番1号
機械工学専攻	2	25	—	50	修士 (工学)	1.12	平成15年 度		
電気・電子工学専攻	2	20	—	40	〃	1.57	〃		
情報・メディア工学専攻	2	23	—	46	〃	1.06	〃		
建築建設工学専攻	2	22	—	44	〃	1.15	〃		
材料開発工学専攻	2	24	—	48	〃	1.01	〃		
生物応用化学専攻	2	21	—	42	〃	1.16	〃		
物理工学専攻	2	14	—	28	〃	0.92	〃		
知能システム工学専攻	2	27	—	54	〃	1.03	〃		
ファイバ・アモニティ工学専攻	2	36	—	72	〃	0.67	平成14年 度		
原子力・エネルギー-安全 工学専攻	2	27	—	54	〃	0.88	平成16年 度		
(博士後期課程)									
物質工学専攻	3	6	—	18	博士 (工学)	0.33	平成5年 度		
システム設計工学専攻	3	7	—	21	〃	1.19	〃		
ファイバ・アモニティ工学専攻	3	15	—	45	〃	0.30	平成14年 度		
原子力・エネルギー-安全 工学専攻	3	12	—	36	〃	0.19	平成18年 度		
特殊教育特別専攻科									
知的障害教育専攻	1	30	—	30			昭和52年 度	福井県福井市文京 3丁目9番1号	

(注) 1 本調査の対象となっている大学等の設置者が、すでに設置している大学の学部、学部の学科について状況を記入してください。

(大学院に係るものについては、記入する必要はありません。)

- 2 事前伺い手続き書類の「設置計画の概要」に準じて作成してください。
- 3 「定員超過率」欄には、過去標準修業年限に相当する期間における入学定員に対する入学者の割合の平均の小数点第2位まで(小数点第3位を切り捨て)を、学科単位で記入してください。なお、学生募集停止を行った学科の記載は不要です。
- 4 学生募集を停止している学部等がある場合、入学定員と収容定員は「—」とし、備考欄に「平成〇年より学生募集停止」と記入してください。

4 教員組織の状況

<教育地域科学部地域科学課程>

専任教員数

設置時の計画						変更状況						備考
教授	准教授	講師	助教	計	助手	教授	准教授	講師	助教	計	助手	
13	11	2	0	26	0	16	9	3	0	28	0	
(14)	(12)	(2)	(0)	(28)	(0)	[3]	[Δ2]	[1]	[0]	[2]	[0]	

「教員数」の「設置時の計画」欄には、完成時の人数を記入するとともに、()内に開設時の状況を記入し、「変更状況」欄には、平成21年5月1日現在（就任年月に達していない者を含む）の状況を記入するとともに、[]内に設置時の計画との増減数を記入してください。
 (記入例：1名減の場合：Δ1)

5 その他全般的事項

<教育地域科学部 地域科学課程>

情報提供に関する事項

① 設置計画書等

- a ホームページに公表の有無 (有 ・ 無)
- b 公表時期 (未公表の場合は予定時期) (平成21年 7 月 1 日)
- c 文部科学省ホームページから、貴学ホームページの「設置計画書等」掲載ページへのリンク
(承諾する ・ 承諾しない)
- d 上記で「承諾する」を選んだ場合、そのリンク先のアドレス
(http://www.fukui-u.ac.jp/cont_about/outline/management.html)

② 設置計画履行状況報告書

- a ホームページに公表の有無 (有 ・ 無)
- b 公表時期 (未公表の場合は予定時期) (平成21年 7 月 1 日)
- c 文部科学省ホームページから、貴学ホームページの「設置計画履行状況報告書」掲載ページへのリンク
(承諾する ・ 承諾しない)
- d 上記で「承諾する」を選んだ場合、そのリンク先のアドレス
(http://www.fukui-u.ac.jp/cont_about/outline/management.html)

(注) 「情報提供に関する事項」の「①」について、現在は未公表であり、今後公表を予定している場合、公表後の取扱いについて記入してください。

また、「①」又は「②」の「c」において「承諾する」場合、文部科学省のホームページにてリンク先を掲載しますので、大学等のトップページではなく直接リンクする先を「d」に記入してください。

なお、「②」について、「d」のリンク先のアドレスが未定の場合は、決まり次第、文部科学省高等教育局大学設置室あてに、メールにてご報告ください。

※大学設置室メールアドレス : d-secci@mext.go.jp

件名は「【調査係あて】AO報告書等HPリンク先(〇〇大学)」としてください。